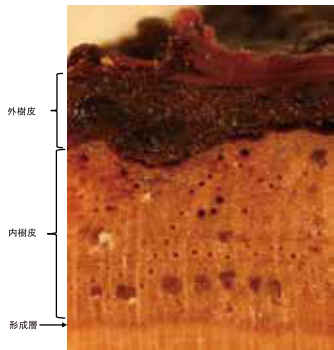


地域資源を活かす 生活工芸双書 漆 1

正誤表

頁	該当箇所	誤	正
口絵iii	下地つけ	写真解説	上縁の部分
口絵iii	四方盆の上塗り	写真解説	細かい
口絵iv	津軽塗の研ぎ出し塗り	写真提供者	写真:津軽塗技術保存会
口絵v	会津塗	写真の移動と差替え	写真:弘前市教育委員会 色粉蒔絵の写真是消粉蒔絵のもの
口絵v	濃磯漆器 狭葉彫堆黒松ヶ浦香合	写真是トリングないものに差替え	消粉蒔絵の写真是トリングないものに差替え
口絵v	濃磯漆器 狭葉彫堆黒松ヶ浦香合	写真解説	高島藩主 高松藩主
口絵viii	頁の最下段	一文を追加する	*口絵ページ構成の構成・解説ほか一切の文責は編集部。
はじめに1	11行目		通知
はじめに2	11行目		通知
目次 6	下段 15行目以降	ウルシ瓶の表記	漆瓶
目次 7	上段 3～5行目	ウルシ瓶の表記	漆瓶
10	下段 7行目	ウルシ学名	ウルシ瓶
13	写真 内樹皮	形成層の範囲	<i>Toxicodendron vernicifluum</i> <i>Toxicodendron vernicifluum</i>
13	麻さあから白く塗れてる漆(マークした部分)	漆液の表示	修正写真Bの通り
77	3章の柱 デザイン文字		白い線による囲み
77	写真キャプション	写真協力者	桐
80	下段 10行目		漆
80	同上		村田九郎兵衛商店 栗 七子塗 なご塗
85	下段 後ろから3行目		19世紀初め頃に 19世紀初め頃までに
86	上段 2行目		どし、料飲店 どし料飲店
86	上段 14行目		(1980年) (1980年)
86	上段 18行目		木漆 漆地(木地)
86	上段 20行目		桐漆地(木地)は、 桐漆地は、
86	下段 表1の2行目	漆地のルビ	ルビを削除
86	下段 1行目～3行目		アテ(材針葉樹の…同一種)の アテ(材針葉樹の…同一種)材の
87	上段 11行目		砥石または炭で水研ぎ
89	上段 9行目		弘前市博物館 弘前市立博物館
89	上段 14行目		対象 内容
91	上段 3行目見出し		七子塗 なご塗
91	上段 6行目		七子塗 なご塗
94	上段 写真	写真解説の末尾に提供者名を入れる	(写真:高山市教育委員会)
94	上段 5行目		ユネスコ無形文化世界遺産 ユネスコ無形文化遺産
95	上段 写真1	提供者を明記	(写真:福島県ハイクラプラザ会津若松技術支援センター。以下*はすべて)
95	上段 10行目	写真4参照に加える	使った蒔絵、写真4参照
95	下段 写真3	提供者を末尾に*で示す	写真3 平極蒔絵の作品 写真3 平極蒔絵の作品*
95	下段 16行目		(写真4、5) (写真5)
96	上段 写真4	写真説明	写真4 色粉蒔絵の作品 写真4 消粉蒔絵の作品*
96	上段 写真5	写真説明	写真5 色粉蒔絵の作品 写真5 色粉蒔絵の作品*
98	上段 写真7	提供者を末尾に*で示す	写真7 朱磨きの作品 写真7 朱磨きの作品*
99	下段 写真9	写真差替え	写真Dに差替える
109	5章の柱 デザイン文字		桐 漆
114～124	本文すべて	ウルシ瓶の表記	ウルシ瓶 漆瓶
116	上段15行目		・生育している姉帯では、太いウルシ・ ・生育している姉帯では、年数の経った太いウルシ・
116	下段10行目		調査としての 資料として
117	上段後ろから2行目		町場の 以上の作業は街場の
117	上段最後		農家の場合である。 農家で行なう場合とがある。
118	下段3行目		入れるものである(写真3)。 入れる(写真3)。
119	下段6行目		瓶分を含む皮と実とを 瓶分を含む皮と種とを
131	上段 後ろから6行目		文化庁では、…伝統的技術の認定を行なっている。 文化庁では、文部科学省の外局として文化財の保存に必要な伝統的技術の認定および保存団体の認定事務を所管する。
131	上段 後ろから4行目・3行目		・保存会が、伝統的技術として文化庁から認定を受け、… ・保存会が、伝統的技術として文化庁から認定を受け、…
137	後ろから20行目	参考文献 張明善・古今伸一郎	『輪島漆器』 『輪島漆器』
137	後ろから18行目	参考文献 奥千代子	『民俗』石川県輪島漆芸美術館…合鹿鹿 『民俗』石川県輪島漆芸美術館…合鹿鹿
137	後ろから16行目	参考文献 島口慶一	『特別展 輪島塗-美と技の歩み-』石川県輪島漆芸美術館 『特別展 輪島塗-美と技の歩み-』財団法人輪島漆芸美術館
137	後ろから15行目	参考文献 柳橋寛	『田中本家…の特色』特別展 田中本…漆器 『田中本家…の特色』特別展 田中本…漆器
137	後ろから14行目	参考文献 高柳浩子	『蒔絵』石川県…合鹿鹿 『蒔絵』石川県…合鹿鹿
137	後ろから12行目	参考文献 柳橋寛	輪島塗の…当初の願い『輪島塗…匠の技』 『輪島塗の…当初の願い』輪島塗…匠の技
137	後ろから7行目	参考文献 寺尾藍子	合鹿鹿 合鹿鹿
138	2行目	参考文献 『弘前藩庁日記』	『新編 弘前市史…資料編三(近世二)』所収 『新編弘前市史…資料編三(近世二)』所収 弘前市企画部企画課
138	6行目	参考文献 佐藤武司	開館20周年記念特別展『漆の美』 開館20周年記念特別展 漆の美
138	7行目	参考文献 弘前市教育委員会	『古津軽塗…(中略)…その再現』 『古津軽塗…(中略)…その再現』
138	8行目	参考文献 『塗物秘伝書』	(弘前市立博物館『津軽の伝統工芸 津軽塗』所収1981年) 弘前市立博物館 1981年『津軽の伝統工芸 津軽塗』所収
142	執筆者	所属表記 室瀬和美	重要無形文化財(蒔絵)保持者 重要無形文化財(蒔絵)保持者
143	奥付 書名表記		地域資源をいかす 地域資源を活かす

(写真A、B、C、D、Eは次頁にあります)



内樹皮

B



A



D



掻きあとから白く流れ出る漆(矢印)

C



E